

施策の基本方針

「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現、県土強靱化の推進に向け、本県の県土整備行政における取組みの考え方を示した「やまがた県土未来図推進指針」に掲げる「暮らしや産業を支える機能的で足腰の強い県土づくり」という基本方針の下、次の5つの柱立てにより施策を展開する。

< 施策の5本の柱 >

- 1 県民の暮らしを支える安全・安心な県土づくり
- 2 産業を支え、活力と魅力ある県土づくり
- 3 豊かな自然と都市空間が調和した快適な県土づくり
- 4 社会資本の効率的・効果的な管理運営
- 5 県土づくりを支える産業の振興

平成30年度は、いのちと暮らしを守る安全・安心な社会の構築、地域活力を生み出し災害に強い県土基盤の形成等に重点的に取り組むとともに、地方創生の実現に向け、地域活性化による交流人口の拡大、山形ならではの豊かさを実現する住まいづくりや建設業を支える人材の育成・確保等について積極的な施策展開を図る。

平成30年度 県土整備部における主要施策の体系

県土未来図
推進指針の
基本方針

◎新規、○拡充（一部新規を含む）

当初予算における重点事業など主要項目

暮らしや産業を支える機能的で足腰の強い県土づくり

【1】 県民の暮らしを支える安全・安心な県土づくり

- 1 治水・土砂災害対策の推進
- 2 冬に強い地域づくりの推進
- 3 地震に強い地域づくりの推進
- 4 危機管理対策の推進

- ・河川整備補助事業費 1,542,300千円（豪雨による浸水被害防止のための計画的な河川整備の実施）
- ・河川流下能力向上対策事業費 262,089千円（河道内の堆積土砂、支障木対策等による治水安全度の向上と効率的な河川維持管理の検討）
- ・ダム整備事業費（うち、最上小国川流水型ダム整備） 1,373,870千円（最上小国川流水型ダムに係る堤体工事等の実施）
- ・土砂災害対策事業費（うち、火山噴火緊急減災対策事業） 42,000千円（蔵王山・鳥海山の噴火に伴い発生する土砂災害の被害軽減のための資材整備）
- ・要配慮者利用施設等保全対策事業費 657,700千円（要配慮者利用施設等を土砂災害から保全するための施設整備）
- ・緊急土砂災害対策事業費 410,500千円（一定の人家集中地区の中で地域の防災拠点となる避難所を含む箇所を土砂災害から保全するための施設整備）
- ・港湾海岸保全対策事業費 63,000千円（港湾・海岸における「L1津波対策」のための防潮堤の整備）
- ・雪に強いみちづくり事業費 1,174,975千円（緊急輸送道路、孤立集落に通じる道路への雪崩対策等の実施）
- ・災害に強いみちづくり事業費 1,060,767千円（緊急輸送道路、孤立集落に通じる道路の落石防止対策等の実施）
- ・空港整備事業費（うち、庄内空港滑走路端安全区域整備関係） 44,100千円（庄内空港における滑走路端安全区域（RESA）の整備に係る実施設計）
- ・建築物耐震化促進事業費 32,877千円（耐震改修促進法で耐震診断が義務化された建築物に係る耐震改修工事等への補助）

【2】 産業を支え、活力と魅力ある県土づくり

- 1 高速交通ネットワークの早期形成
- 2 暮らしと地域を支え、人と環境を大切にするみちづくり
- 3 物流機能に対応した空港港湾整備

- ・道路改築事業費 8,300,183千円（高速道路追加IC、高速交通網アクセス道路、生活圏間・主要都市間ネットワーク、生活幹線道路ネットワークの整備等）
- ・国直轄高速道路等事業費負担金 3,031,333千円（県内高速道路網の整備推進）
- ・高速道路整備推進事業費 3,503千円（高速道路整備促進に向けた隣県等との広域連携、開通に伴う利用促進のための情報発信等）
- ・街路整備事業費 2,082,109千円（都市基盤としての都市内幹線街路の整備）
- ・交通安全道路事業費 1,671,849千円（通学路の安全確保、歩道の整備、交通渋滞解消のための交差点改良、事故危険区間の対策等）
- ・「やまがた道の駅」緊急整備支援事業費 20,210千円（やまがた道の駅ビジョン2020に基づき「道の駅」の魅力アップを図るための設置者への補助等）
- ・道路保全事業費（うち、自動車利用周遊支援基盤整備事業費） 41,000千円（「道の駅」への案内や高速道路の路線表示に対応した標識整備等）
- ・酒田港施設整備費 660,000千円【港湾特会】（取扱貨物量の増加に対応するためのふ頭用地造成及びコンテナクレーンの更新）
- ・酒田港港湾事業調査費 43,700千円（酒田港を取り巻く情勢の変化を踏まえた新たな中長期構想の策定、環境影響評価の実施及び港湾計画の改訂）

【3】 豊かな自然と都市空間が調和した快適な県土づくり

- 1 誰もが暮らしやすい居住環境の整備
- 2 低炭素社会・循環型社会の構築
- 3 豊かな自然・歴史文化・景観を活かした地域づくりの推進
- 4 都市の拠点性向上の推進

- ・都市公園活用推進事業費 528,229千円（県内都市公園の計画的な設備更新及び利用者のための環境整備）
- ・住宅リフォーム総合支援事業費 732,975千円（住宅リフォームの補助）
- ・山形の家づくり支援事業費 218,447千円（住宅の新築やリフォームと併せた中古住宅の取得に係るローンの利子補給）
- ・セーフティネット住宅供給促進事業費 12,154千円（低額所得者や子育て世帯など住宅確保要配慮者向けの登録住宅改修への支援等）
- ・やまがたの誇れる景観魅力発信事業費 3,450千円（景観ビューポイントの情報発信の充実等）
- ・中心市街地再開発事業費 115,391千円（人口減少社会に対応した集約型都市構造を推進するための市街地再開発事業への支援）

【4】 社会資本の効率的・効果的な管理運営

- 1 使い続ける維持管理の推進
- 2 県民協働による維持管理・地域づくりの推進
- 3 県土管理システムの推進

- ・道路施設長寿命化対策事業費 3,694,619千円（橋梁、舗装、トンネルの長寿命化計画に基づく点検、補修等）
- ・河川管理施設長寿命化対策事業費 258,550千円（水門、樋門等の河川管理施設の長寿命化計画に基づく点検、補修）
- ・砂防関係施設長寿命化対策事業費 254,310千円（砂防えん堤等の砂防関係施設の長寿命化計画に基づく点検、補修）
- ・港湾施設長寿命化対策事業費 78,645千円（岸壁等の港湾施設の長寿命化計画に基づく点検、補修）
- ・マイロードサポート事業費 20,077千円（除排雪を含め県管理道路及び臨港道路の維持管理活動を行う団体への活動支援等）
- ・ふるさとの川愛護活動支援事業費 31,207千円（県管理河川・海岸等の維持管理活動を行う団体への活動支援等）

【5】 県土づくりを支える産業の振興

- 1 建設・住宅産業の振興

- ・建設業人材確保緊急対策事業費 1,377千円（建設業技能労働者確保に向けた専門工事組合等の取組みへの支援、女性入職促進のための意見交換会の開催）
- ・住宅リフォーム総合支援事業費（再掲） 732,975千円（県産木材を多く利用した住宅のリフォームに対する補助）
- ・山形の家づくり支援事業費（再掲） 218,447千円（県産木材を多く利用した住宅のローンの利子補給）
- ・やまがたの木造住宅建設担い手育成事業費 8,720千円（若手大工技能者確保のための入職促進・育成・技術習得に向けた取組み等）

